



避難所での感染対策

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。特に避難所では、衛生状態を保つことが大切です。飛沫等により感染拡大する恐れがあるため、感染症に「**自分がかからない**」ように、かかっても「**他人にうつさない**」ために、感染対策を行いましょう。

●**トイレの利用について**● 避難所はトイレ環境の悪化により感染が広がるリスクがあるため、使用前には便座を拭くなど、トイレはきれいに使いましょう。
また、トイレで汚染された履き物を介して感染が広がるおそれがあるため、居住区域は、土足厳禁を徹底しましょう。

●**手洗い・うがい・手指消毒**● 流水を使って手洗いをしましょう。水が出ない場合など、流水で手洗いきれない場合は、アルコールを含んだ手指消毒薬を多めに手に取り、手拭き用の紙で拭き取りましょう。やむを得ずバケツなどにくみ置きした水を使う場合は、直接バケツの中の水で手を洗わないように注意しましょう。

●**咳エチケット**●

熱中症に注意し、可能であればマスク着用を心がけましょう。
マスクがない場合、咳やくしゃみの際はティッシュで口と鼻をおおきましょう。
ティッシュ等がない場合には、二の腕で口と鼻をおおきましょう。

●**換気**●

機械換気(24時間換気システムや換気扇)は、常に稼働させましょう。機械換気が十分でない場合や、人が多い時は、安全を確認した上で、ドアや窓も開けましょう。

詳しくは厚労省HP
「災害時における感染症対策」



定点 種別	疾患名	状況	29週(7/13～7/19)		30週(7/20～7/26)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	—	2	0.09	5	0.23
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		65	2.95	31	1.41
	急性呼吸器感染症(ARI)		969	44.05	879	39.95
小児科	RSウイルス感染症		6	0.46	7	0.54
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	5	0.38	1	0.08
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	14	1.08	16	1.23
	感染性胃腸炎	—	51	3.92	40	3.08
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.08	3	0.23
	手足口病	○	67	5.15	35	2.69
	伝染性紅斑(りんご病)	—	2	0.15	2	0.15
	突発性発しん		10	0.77	9	0.69
	ヘルパンギーナ	—	12	0.92	8	0.62
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.08	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	1	0.20	5	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		3	0.60	4	0.80
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし